

令和2年7月6日

令和2度 大阪府立羽曳野支援学校 第1回 学校運営協議会

進行 福積
記録 名手

日時 令和2年7月6日（月）15:00～16:45

場所 大阪府立羽曳野支援学校 地域支援室

参加者 中條委員 亀田委員 平賀委員 平井委員

木村校長 福積教頭 名手教頭 川野事務長 多田首席 浅田首席 和田首席
武田教諭 岡田教諭

1 校長挨拶

・新型コロナウイルスによる休校等により、6月から授業を開始し夏季休業も短縮し授業を行います。また土曜日についても一部授業をおこないます。本年度もよろしく願いするとともに、お気づきの点やご意見をいただきたい。

2 職員紹介 新事務局員のみ 川野事務長 和田首席

3 会長選出 中條委員

4 令和2年 学校経営計画について

(木村校長)

(1) 令和元年度第三回の学校運営協議会の意見をふまえたうえで学校教育計画の取組自己評価について変更をした。

①重点目標に昨年より自立活動を復活した。

②新学習指導要領に示されるプログラミング教育について取り組む。

③ICTを活用した「楽しく学ぶプロジェクト」の実現（経営推進事業にエントリー）

④退院後のアンケートの実施

⑤原籍校と連携したキャリア教育の推進

5 質疑応答

(平賀委員) 取り組みについての意見質問

・「病気や体調の自己管理を進め」とあるが → 「病気や体調に即した自己管理能力を高め」という標記のほうが適切ではないか。

・全体を通じて文章の中に「原籍校」という標記があるが、以前羽曳野支援学校の校長先生より学籍を移したので「前籍校」と標記することが適切であるといわれたが、どちらが正しいか。

(福積教頭) 回答

・府支援教育課に以前お聞きしたが、「原籍校」は居住地に基づいて通学する学校のことを

いうと回答を受けている。

(亀田委員)

- ・3月末からの新型コロナウイルスで在宅ワークも増え、これからは ICT を使った学習に移行していくのではないかと思う。

(平井委員)

- ・キャリア教育の推進も大切である。また、ロボットプログラム「楽しく学ぶプロジェクト」等を活用して、前籍校と連携して羽曳野支援ではなくてはならない指導として実施してほしい。
- ・私の小学校にも病弱の学級があり、お互いに進路指導で協力していきたい。

6 連絡報告について

(1) 教科用図書について 小・中学部図書

本校・訪問→羽曳野市採択 分教室→堺市で採択の教科書を羽曳野支援で採択する。

(2) G-Suite について (武田教諭) 別紙参照

- ・高速回線を使ったオンライン授業である グーグルの無料ソフトウェアを使用
- ・課題を出したり、レポートを提出したり Q・A ができる。個別での指導もできる。
- ・授業は Zoom でおこなう。
- ・ロボットプログラミング選手権について (ロボットの実動作を実演)
地区大会 10月 予選を通れば → 全国大会 2月実施

意見等 (質疑応答)

(平賀委員)

- ・自宅療養中の生徒に使える。新型コロナウイルスで学校に通えない状況等で使えるので貴重な取り組みではないかと思う。
- ・私の大学も現状では授業はすべてオンライン授業であり、講座の受講生の負担が大きくなっている。それは、授業により統一性がなく課題等の提出方法がバラバラで、学生一人ひとりでは自分で管理しにくく、サポートが必要である。
- ・私自身、後期にプログラミングの授業を障がい種別ごとに報告しなければならないので苦慮している。

(亀田委員)

- ・児童生徒がどのようにソフトをつかうのか、また Zoom 等複数のソフトを使用して授業のノウハウを蓄積することが大切である。
- ・多面的な働きかけが大切であり、是非オンライン授業もお願いしたい。

(平井委員)

- ・新型コロナウイルスでデジタル化がかなり進んだ、本校 (小学校) も一か月前から ICT 係をつくり研究している。
- ・グローバル化が大切であるが使いこなせるのか、また保護者の指導、子どもたちへの指

導が難しいと思う。羽曳野支援ならではの指導を期待したい。

(中條委員)

- ・私の施設は児童養護施設なので、34名の児童をお預かりしているので、その全員の遠隔教育は大変である。
- ・私も大学に教えに行っているが、フジソフト（ロボットプログラム）を調べてみる。11月の良い結果報告を待っています。

(3) 授業動画の作成について (岡田教諭)

- ・実例を使って説明 本校だけで5月より作成している
- ・動画の種類としては3種類あると考える。
ノート映す型 板書を映す型 授業（講義形式）を映す型
- ・知り合いの先生が画面に出ていると、児童生徒の興味関心が高まる。
- ・10分程度の動画が適当であるのではないかと（集中力・能率等）

(平賀委員)

- ・実例をみて参考になった。

(亀田委員)

- ・当然だが、あって当たり前のものでできた。OO進塾が先駆け、お互いが刺激しあって良いものができればいいのではないかと。動画は10分程度が適当ではないかと。

(平井委員)

- ・本校も苦慮している、だれでも知っている先生が出（動画に）てくる、いろんなバージョンを考えている。私も先日リモートの研修を受けてきたが、動画の中に少し脱線するようなおもしろい話の工夫も必要ではないかと思ひ、どんどんデータをためている。私も動画は10分程度が適当ではないかと思う。

(4) その他

次回は11月上旬を予定しています。

7 閉会あいさつ (校長)

- ・本日は貴重なご意見をありがとうございました。